

# 広島大学

令和3年度一般選抜(後期日程)・  
外国人留学生選抜C日程3月実施

## 出題の意図

教育学部 第一類(学校教育系)  
特別支援教育教員養成コース

科目名:小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

#### 【出題の意図】

今日、我が国を取り巻く社会的環境は大きく変化しており、学校教育においても ICT（情報通信技術）の活用や国際化、科学技術人材育成支援、インクルーシブ教育システムの構築・推進に向けた取り組みなどが重視されている。こうした状況の中で、本文は現代の学校教育における課題を取り上げ、創造する力をつけるには、主体的に学び、何かに没頭することが重要であると説き、いわゆる「詰込み教育」の在り方に警鐘を鳴らしている。本文の趣旨を的確に把握し、著者の主張を理解しつつ、受験者が自らの考えと比較検討しながら論理的に思考する力、これまでの受験者の学校や生活の場における勉強や学びの経験も踏まえながら、著者が述べる「お勉強」と「学び」それぞれの意義や課題について十分に分析（判断）する力、そして頭の中で考えたことを読み手に理解させ、時には納得させることができるような文面に的確に表す力を問う。さらに、受験生とは異なる考えや立場の人物を想定し、その人物の考えや立場も尊重しつつ、受験生自らの考えをどのように伝え、相手に理解を促すかについても問うことで、障害のある子どもの教育に携わるための基礎となる、人とのかかわり方や人を理解する態度・姿勢、問題意識や問題解決能力等について総合的に評価する。問1では、本文中に記載されている「お勉強」と「学び」に対する著者の考え方に対して、「賛成」、「反対」、「どちらでもない」のいずれかの立場に立ち、著者の意図も読み取り、理解しつつ、受験者のこれまでの知識や経験等も踏まえながら、論理的に説明することを求める。問2では、受験者が教員であると仮定して、問1の解答内容を踏まえながら、学習の在り方について、受験生とは異なる考えを持つ者に対して論理的かつ明確に説明することを求める。